

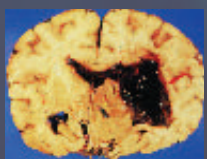
薬物乱用が心身に及ぼす影響

1. 精神・身体への影響について

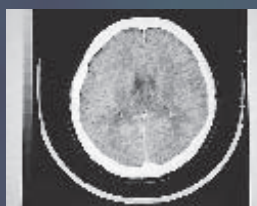
覚せい剤を始めとする薬物の乱用は精神と身体を深く致命的に破壊します。脳の正常な発達を止めてしまい、精神のバランスを悪くさせます。乱用により、一時的に頭が冴える、神経が興奮するというような感覚を得たように感じられることがあります。その後、脱力感や疲労感に襲われ、

ついには次のような幻覚、妄想といった精神障害が引き起こされます。

また、薬物の乱用は、体の主要な器官に次のような深刻な悪影響を及ぼし、最悪の場合、死に至らしめます。



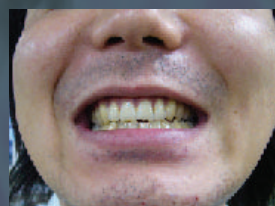
※覚せい剤乱用による脳出血(東京都立豊島病院検査科技師長・江原和人氏提供)



正常対照者の脳



有機溶剤依存者の脳



正常者の歯



腐食した歯

※正常対照者の脳・有機溶剤依存者の脳・腐食した歯の写真提供/国立精神・神経センター 部長 和田 清氏

脳

大脳の神経細胞の死滅による脳の萎縮、脳出血

記憶力低下
ぼけ症状

気管支

粘膜異常

気管支炎

心臓

血圧上昇
心不全

胃

胃粘膜の異常及び出血

胃痛
吐き気
嘔吐

骨髄

赤血球の形成異常

貧血

眼

視神経の異常
眼底出血

視力低下
失明

肺

粘膜異常

肺ガン

薬物使用による主な病名と症状

覚せい剤 ▷ 覚せい剤精神病 → 幻聴、幻視、妄想など

大麻 ▷ 大麻精神病 → 幻覚、妄想など

シンナー ▷ 有機溶剤精神病 → 幻覚、妄想など